

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課						
	作成責任者	西村正芳						
	事業名	厚生会館文化芸術振興自主事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 文化振興費	会計 一般会計	事業コード 650202	決算付属資料 74	頁
	施策体系	施策コード 020701	施策名 文化活動を振興する					
	開始年度	平成12年度(2000)						
	終了予定年度	令和2年度(2020)						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	福知山市文化公演自主事業補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、舞台芸術を中心とした文化の拠点として利用促進と情報発信を行う。					
	対象者	市民、施設利用者(市内外を対象。営利・非営利)出演者(市内外を対象)入場者(市内外を対象)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	文化公演自主事業実行委員会、ガラコンサート実行委員会					
	事業概要	地域の文化振興を図るために厚生会館の特徴を活かした自主運営事業として ・クラシックコンサートの開催 ・ガラコンサート(福知山近郊演奏家出演) ・スタインウェイ(厚生会館備品ピアノ)を弾いてみよう 等を実施、厚生会館の空室、備品(スタインウェイピアノ)の有効活用を図る。					
	主な経費と具体的内容(N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		負担金補助及び交付金	文化公演自主事業実行委員会補助金			550	
需用費		チラシ・プログラム印刷			69		
委託料		音響照明業務委託			46		
関連事業	厚生会館管理運営事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	740	695	678	617	603				
	②補正予算	0	△ 51	0						
	③流充用額			△ 13						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
繰越	前年度繰越		0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0	0				
予算と執行の状況	一般財源	0	0	37	0	14				
	国支出金	0	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財	740	644	628	617	589				
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	市町村交付金		種類	諸収入	実績金額	508	決算付属資料	46	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.09/0.15	0.09 / 0.15	0.1 / 0.12	0.1 / 0.12						
⑤概算人件費	1,095	1,095	1,100	1,100						
⑥総事業費(①+②+③+④+⑤)	1,835	1,739	1,765	1,717						
⑦執行額	710	570	665	0						
執行率(⑦/(①+②+③+④)×100)	95.9%	88.5%	100.0%	0.0%						

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			実績/当初目標	実績/当初目標	実績/当初目標	実績/当初目標	
成果実績(アウトカム)実績/当初目標	コンサート等来場者数	人	1,184/1,000	395/1,000	850/1,000	/ 1,000	1,000
	ガラコンサート出演者数	人	10/10	0/10	9/10	/ 10	10
活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	文化振興事業実施件数	回	3/4	3/4	3/4	/ 4	4
	単位あたりコスト		236.7	190.0	221.7		
	単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・京阪神の都市圏に行かずに、“地元で優れた音楽を聞く”とのコンセプトにより、本市での音楽芸術の振興と機会を創出する。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・企画・立案は実行委員会を結成し、無報酬の市民協働により事業推進。コンサート等の入場料により効果ある事業推進を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・「スタインウェイを弾いてみよう」事業は、名器スタインウェイに触れていただく機会の創出するとともに、利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用等を図っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		①スタインウェイを弾いてみよう：第13回を迎え、市民の間で定着している(参加57名)。 ②クラシックガラ・コンサート：第10回を実施した(演奏9組16名)。 ③文化公演自主事業：「清塚信也ピアノコンサート」を実施した(来場者850人)。	
今後の課題及び方向性		・文化公演自主事業は、市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという趣旨で始まった事業であり、毎年の恒例事業として定着している。20回を控え、今後の事業の継続について検討の時期にきている。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	文化公演自主事業(クラシックコンサート)は令和2年度の開催をもって終了する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	市展事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650203	決算付属資料	74	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	昭和38年度(1963)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	多くの市民が芸術活動・創作活動に主体的に参画し、また、発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。市民に創作活動の発表の場と文化芸術に親しむ機会を提供し、市民の自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる。									
	対象者	市民、出品者(三たん地域のアマチュア芸術愛好者)入場者(市内・市外を対象)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	日本通運株式会社関西美術品支店ほか									
	事業概要	■三たん地域で文化芸術活動されている方を対象に作品を一般公募し、審査のうえ、入選以上の作品を厚生会館に展示する。市展運営委員会(学識経験者)と事務局による事業、絵画、彫刻、工芸、写真、書の5部門。文化の日を中心に展示開催。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		報酬	運営委員報酬							90	
報償費		審査・講評会謝礼							1,380		
需用費		消耗品費、印刷製本費							321		
役務費		郵送料							205		
委託料他	委託料915、使用料及び賃借料854							1,769			
関連事業	佐藤太清記念美術館特別展事業、厚生会館文化芸術振興自主事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	3,680	3,497	3,408	3,430	3,502				
	②補正予算			0						
	③流充用額	485	83	387						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越		0	0	0	0					
	次年度繰越		0	0	0					
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	560	83	508	0	0				
	国支出金	0	0	0	0					
	府支出金	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	その他特財	3,605	3,497	3,287	3,430	3,502				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村交付金		種類	諸収入	実績金額	2,600	決算付属資料	46	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.53/0	0.37 / 0	0.33 / 0.04	0.33 / 0.04					
	⑤概算人件費	4,240	2,960	2,740	2,740					
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	8,405	6,540	6,535	6,170					
	⑦執行額	4,160	3,560	3,765	0					
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.9%	99.4%	99.2%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	出品点数	点	539/500	548/500	552/500	/	560	600
	来場者数	人	2824/3000	2788/3000	2571/3000	/	3000	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	市展開催	回	1/1	1/1	1/1	/	1	1
	単位あたりコスト		4,160.0	3,560.0	3,766.0			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市を代表する文化事業として広く認知され、全市的かつ三たん地域(丹後・丹波・但馬)の公募美術展として定着をしている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	会場の設営・展示・撤収作業は専門業者に委託や、共催団体と協働で運営し、効率化を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市展が市民の芸術活動の発表の場と、入選・入賞が目標となっている。高校生や初心者も安価で出品することができ、次世代への投資・人材育成の場となっている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	市展54回を数え、三たん地方を中心に活動される方の市民公募展として定着している。		
今後の課題及び方向性	出品者及び来場者の高齢化が課題となっている。三たん地域の過疎化・人口減少の中、成果目標数値を維持できているのは、60歳以上の出品者の創作活動に支えられている。入場者人数が減少傾向にあり、広報等のあり方検討が必要になる。高校生世代にも出品を呼びかけるために学校へのPRを実施する。委嘱作家の取り扱いについて議論を進める。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して開催する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	佐藤太清賞公募美術展事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650205	決算付属資料	76	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成13年度(2001)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市固有の資産である名誉市民佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。北近畿の中核都市に相応しい本市の文化的イメージの向上と全国的な情報を発信する。市民が誇りの持てる福知山市を確立する。										
	対象者	市民、出品者(芸術を志す全国の高校生・大学生など16歳から27歳までの方)、入場者(市内外を対象)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.2						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	日本通運株式会社関西美術品支店										
	事業概要	■全国規模の絵画・日本画の公募美術展、対象は高校生・大学生等の若手芸術家や将来芸術家を目指す若年層。入選以上の作品については、福知山・横浜・東京・名古屋・京都の5会場で開催を行う。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		報償費	奨学金、審査謝礼、表彰楯							3,078		
旅費		審査、表彰式、巡回展示旅費							655			
需用費		消耗品費							69			
役務費		額装手数料、看板書換、郵送料							233			
委託料他	委託料6,498,720、使用料及び賃借料1,620,032							8,119				
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	12,500	12,411	12,411	12,176	12,140			
	②補正予算	0	0	0					
	③流充用額	0	0	△ 11					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越		0	0	0	0	0			
	次年度繰越		0	0	0	0			
財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	2,470	4,076	4,642	2,938	2,902			
	国支出金	0	0	0	0	0			
	府支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他特財	10,030	8,335	7,758	9,238	9,238			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤太清賞公募美術展事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	2,200	決算付属資料	34	頁
	特財名称	市町村交付金	種類	諸収入	実績金額	4,994	決算付属資料	46	頁
人件費	0.29/0	0.29 / 0.06	0.23 / 0.08	0.23 / 0.08					
⑤概算人件費	2,320	2,470	2,040	2,040					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	14,820	14,881	14,440	14,216					
⑦執行額	12,189	12,302	12,154	0					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	97.5%	99.1%	98.0%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		出品者数	人		137/250	181/250	144/250	/ 250	250
	入場者数	人		1,967/2,000	1,859/2,000	2,067/2,000	/ 2,000	2,000	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	活動実績	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		美術展の開催	回		1/1	1/1	1/1	/ 1	1
		単位あたりコスト			12,189.0	12,302.0	12,155.0		
		単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	日本各地から応募があり、若手の登竜門として定着した。受賞者の中には日展作家、画業を生業とされる方も輩出しており、福知山市のPRにつながっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	文化事業として本市独自の資産を活用して全国的に情報発信ができる重要な事業である。地元高校生の出品等もあり次世代育成となっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事務局機能を業務委託することにより、複雑かつ専門的な業務の効率化を進めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	全国5会場の巡回展では、福知山市の芸術文化を全国に発信することができた。市内出品者から佐藤太清賞や特選の受賞者があった(絵画)。引き続き市内での普及を図っていく。		
今後の課題及び方向性	出品者の増を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への有効な広報活動等を行う必要がある。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	シティプロモーションの観点から福知山市の佐藤太清賞であることを意識した事業展開を図るとともに、過去の受賞者の追跡調査等も実施し、市のPRに繋がるよう実施していく。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	中丹文化芸術祭事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650208	決算付属資料	76	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	昭和61年度(1986)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民が芸術活動・創作活動を主体的に参画して作り上げ、また発表・鑑賞することによって、豊かな感性を持った心豊かな地域社会を構築する。また、優れた芸術鑑賞の機会を提供するとともに、中丹・丹後地域の文化団体の文化交流によって、新たな文化創造を行う。									
	対象者	市民、文化活動団体、事業参加者(市内、市外を対象)			対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金交付)									
	委託先・実施主体等	負担金交付先: 中丹文化芸術祭実行委員会									
	事業概要	■中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の総合的な発表会を提供する。各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施する。開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当し、平成31年度は福知山市が事務局担当市となる。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
	委託料	駐車場警備業務							44		
	使用料及び賃借料	厚生会館使用料							206		
	負担金補助及び交付金	分担金							400		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	675	675	600	703	620
		②補正予算	0	△ 194	0		
		③流充用額			50		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	0
		次年度繰越		0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	675	481	650	703	620
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.09/0	0.08 / 0	0.08 / 0.04	0.08 / 0.04		
⑤概算人件費	720	640	740	740			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,395	1,121	1,390	1,443			
⑦執行額	666	481	650	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	98.7%	100.0%	100.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		出演者数	人	1,908/2,300	1,597/2,300	1,371/2,300	/ 2,300	2,300
		来場者数	人	2,625/3,000	2,591/3,000	2,518/3,000	/ 3,000	3,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開催種目数	事業	6/9	6/9	6/9	/ 9	9
		単位あたりコスト		111.0	80.2	108.3		
単位あたりコスト								

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	文化団体相互の他市活動者との交流によって、新たな文化創造を行う。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	中丹文化事業団、中丹3市文化担当職員及び各市文化協会委員による実行委員会により運営されており、会場使用料等及び負担金で効率的に事業実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	出演種目にあわせ、次世代育成も視野に入れた事業が展開されており、他団体との共催などによりレベルアップの動機づけや活動の振興の機会として有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		中丹3市の文化団体の共通の発表の場であり、各市団体の交流の場、レベルアップにつながっている。	
今後の課題及び方向性		京都府と中丹3市の協調で実施している事業でもあり、互いに課題や情報の共有を行いながら実施していく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	負担金の支出は3市平等負担となっている。市開催事業は施設使用料等の負担が必要になる。広域開催を誘致することは現在のところ検討していない。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650209	決算付属資料	76	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成20年度(2008)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市文化協会運営補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	多くの市民が文和芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画し、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。各種事業が市民の自主的・主体的な参画により企画・運営される。また、市の共催事業にもなっている。										
	対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者(市内内外を対象)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	補助先:公益社団法人福知山市文化協会										
	事業概要	■公益社団法人福知山市文化協会への運営補助 ■公益社団法人福知山市文化協会との共催事業 ■文化団体への後援等(賞状筆耕、副賞の購入) ■文化・スポーツ振興課における事務処理全般 ■その他(まちなかトイレ清掃業務)										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
		賃金	育休代替臨時職員						1,578			
報償費		表彰楯						7				
旅費		事務連絡						25				
需用費		消耗品費、印刷製本費						367				
役務費他	役務費72、委託料178、使用料及び賃借料369、備品購入費91、負担金補助及び交付金3,174						3,884					
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	4,816	4,331	3,840	5,242	4,760				
	②補正予算			0						
	③流充用額	1,842	179	2,070						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越		0	0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0	0				
予算と執行の状況 (財源内訳①④⑤内訳)	一般財源	6,321	4,136	4,846	3,226	2,176				
	国支出金	0	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財	337	374	1,064	2,016	2,584				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市史等図書販売		種類	財産収入	実績金額	1,013	決算付属資料	32	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.56/0	0.4 / 0	0.28 / 0	0.28 / 0						
⑤概算人件費	4,480	3,200	2,240	2,240						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	11,138	7,710	8,150	7,482						
⑦執行額	6,519	4,466	5,861	0						
執行率 (⑦/⑥×100)	97.9%	99.0%	99.2%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
		共催事業参加者数	人	8,895/12,000	10,000/12,000	10,000/12,000	/	12,000	12,000	
		0	0	0	0	/	0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標			
			文化協会との共催事業数	件	7/10	7/10	7/10	/	10	10
			単位あたりコスト		931.3	638.0	837.3			
			文化協会加盟団体数	団体	43/43	43/43	42/43	/	43	43
		単位あたりコスト		151.6	103.9	139.5				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市の文化推進団体である文化協会の事業を補助することで市民文化の基本的な枠組み維持し文化振興を図ることができる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市民主体の自主的な活動を支援することで、行政事業を補完し、官民一体となった推進体制を構築することができる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	文化協会が主体となる福知山市文化祭事業や各種講演、発表会を福知山市共催事業として実施できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		福知山市文化協会への運営補助金により、市民の多様なニーズに対応した文化事業に取り組むことができた。	
今後の課題及び方向性		補助金等による支援を通じて本市の文化振興を図る。文化振興基本方針をふまえ、文化協会と連携して新たな文化振興事業の取り組みの検討を進める。 ジュニアの全国大会出場への派遣費補助を設け活動を支援する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	文化・スポーツ振興課の事務管理経費を計上する。引き続き福知山市文化協会への支援を行うことで、市の文化振興の推進を図る。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	佐藤太清記念美術館特別展事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650210	決算付属資料	76	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成22年度(2010)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	著名な作家の作品による特別展の開催により、芸術文化を振興し、絵画愛好者の裾野を広げる。また、ギャラリートークの開催など工夫をこらしたイベント等により入館者の増加を図る。										
	対象者	市民、入館者、施設利用者(市内・市外を対象)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	日本通運株式会社関西美術品支店										
	事業概要	著名な作家の作品展を行いギャラリートークを実施する。さらに、企画展として市展作品展や高校アート展等身近な作家による展覧会を実施する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
		報償費	講師謝礼						230			
旅費		講師旅費、職員旅費						84				
需用費		消耗品費、チラシ・ポスター印刷						693				
役務費		郵送料、看板書換手数料						224				
委託料他	委託料500、使用料及び賃借料55						555					
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業、佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業、市展事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	3,430	3,173	2,799	0	0					
		②補正予算	0	0	0							
		③流充用額			△ 118							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0						
		次年度繰越		0	0	0						
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	0	0	436	0	0					
		国支出金	1,175	1,586	881	0						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0						
		その他特財	2,255	1,587	1,364	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	国庫支出金	実績金額	881	決算付属資料	16	頁		
		特財名称	市町村交付金	種類	諸収入	実績金額	600	決算付属資料	46	頁		
	人件費	0.31/0.7	0.39 / 0.85	0.17 / 0.75	/							
⑤概算人件費	4,230	5,245	3,235									
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	7,660	8,418	5,916									
⑦執行額	2,976	3,110	1,786	0								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	86.8%	98.0%	66.6%									

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		特別展事業入館者数	人	8,273/4,000	5,970/4,000	3,917/5,000	/ 0	5,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		企画展・特別展開催数	回	6/4	6/4	6/4	/ 0	4
		単位あたりコスト		496.0	518.3	297.7		
単位あたりコスト								

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	各種特別展、企画展、体験学習会等を通じわかり易く、楽しい美術館を目指し、本市の文化芸術推進、普及啓発の核施設として各種事業を展開している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	基金運用、国補助金の確保に努め、入館料を確保するため、市民に喜ばれ、来訪者にも人気ある特別展・企画展等の実施を心がけている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	入館者数も増加傾向にあり、限られた財源の中、芸術鑑賞のみならず参加も図られることにより、本市の芸術文化の創造につなげることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。 魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施することで市民に文化芸術に触れていただく機会を創出できた。	
今後の課題及び方向性		予算を「美術館企画・展示品等充実事業」に統合する。 今後も、見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	福知山市ジュニア文化賞表彰事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650216	決算付属資料	76	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成25年度(2013)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市ジュニア文化賞表彰要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高校生以下のジュニアを対象に全国大会で優秀な成績を収めたものを表彰する。										
	対象者	市内に在住・在学する小学生・中学生及び高校生	対象者数	10,155	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	■ジュニア文化賞は文化賞が若者の文化活動の発展・継承または動機づけとなるような存在にすることを目的として成績優秀者を表彰する。 【表彰基準】(1)文部科学省及び文化庁等、国の省庁が主催又は共催する全国大会 (2)国が管轄する公益法人が主催する全国大会 (3)その他市長が全国的な水準として適当と認めたもの ※上記大会において、入賞(8位相当)以上の成績を収めたもの 【表彰内容】表彰状及び記念品										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)			具体的な内容					H30経費			
		報酬	選考委員報酬					5				
報償費		表彰楯					35					
需用費		賞状用紙印刷					10					
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	116	68	52	54	54				
	②補正予算	0	15	0						
	③流充用額			17						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越						0				
						0				
予算と執行の状況 財源内訳(①④内訳)	一般財源	14	15	30	0	0				
	国支出金	0	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財	102	68	39	54	54				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	文化賞基金		種類	基金繰入金	実績金額	39	決算付属資料	36	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.07/0	0.13 / 0	0.07 / 0	0.07 / 0						
⑤概算人件費	560	1,040	560	560	560					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	676	1,123	629	614						
⑦執行額	28	78	63							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	24.1%	94.0%	91.3%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		文化賞表彰件数	人	2/5	5/5	4/5	/ 5	5
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		文化賞委員会	回	1/1	1/1	1/1	/ 1	1
	単位あたりコスト		28.0	78.0	63.0			
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	若年層の活動を激励し、文化活動参加への後押しを行う点で、次世代育成の事業として必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本市から表彰されることによって本市の代表として意識の向上、郷土愛の醸成と若年層の文化の底上げを図ることができる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	各学校からの推薦を受け、選考委員会により決定しており、有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	本表彰を通じた若年層の文化活動への動機付けや次世代育成につながっている。		
今後の課題及び方向性	積極的な広報に努め、本市の文化の担い手である若年層の意識啓発を進める。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して実施する。
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650225	決算付属資料	76	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成29年度(2017)												
	終了予定年度	平成30年度(2018)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域の人々が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりを促進し、地域の魅力をアートの視点から引き出すアーティスト・イン・レジデンス事業を実施する。									
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金交付)									
	委託先・実施主体等	負担金交付先: 京都Re-Search実行委員会									
	事業概要	■ 京都アーティスト・イン・レジデンス実行委員会(事務局: 京都府)を組織 ■ 若手アーティストを全国公募(7~8名) ■ 福知山市域内で15日間程度宿泊 ■ 地域の特色、魅力をワークショップにて探索、研究 ■ 地域研究を進めて創作活動、発表									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	使用料及び賃借料								1		
	負担金補助及び交付金	実行委員会負担金							1,217		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	0	544	1,557	0						
		②補正予算	0	0	0							
		③流充用額	0	0	0							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0						
		次年度繰越		0	0	0						
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	0	272	340	0	0					
		国支出金	0	272	608	0						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0						
	その他特財	0	0	609	0							
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金		種類	国庫支出金		実績金額	608	決算付属資料	16	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0/0	0.2 / 0	0.14 / 0	/						
⑤概算人件費		0	1,600	1,120								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		0	2,144	2,677								
⑦執行額		0	514	1,218	0							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		0.0%	94.5%	78.2%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		レジデンス参加者	人	-	6/6	4/4	/ 0	4
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		作品展示発表	点	-	6/6	4/4	/ 0	4
		単位あたりコスト		-	85.7	304.8		
		単位あたりコスト						

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	アートの視点から地域の魅力を掘り起こし、そこから生まれる交流人口の拡大、地域の活性化を狙いとしていたが、現代アートに対する理解や、まちづくりにどうつなげていくかというビジョンづくりに課題があった。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	京都府が事務局となり、実行委員会により実施。 地域アートマネージャー(中丹広域振興局)を中心にアーティスト・文化協力員・地元住民との交流を図っていく取り組みであったが、地域住民を巻き込んでいく仕掛けに課題があった。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	アーティストによる地元での聞き取り調査を行うことにより、交流(動き)が生まれた。 一方で、現代アートの取り組みであり、成果の見えにくい面があった。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>■国際的に活躍するアーティストやキュレーターたちが、市内でアートプロジェクトを開催した。</p> <p>■集会所周辺地域及び調査箇所の方々との交流を通して、地域の文化に対する人の動きや、中心市街地に民間によるアートの拠点づくりが進もうとしている。</p> <p>■芸術を活用した文化事業として一定の効果があつたと判断しているが、現代アートに対する認識の差などもあり、地域住民を巻き込んだ大きな取り組みにはできなかった。</p>	
今後の課題及び方向性		京都府事業終了のため、平成30年度で終了。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650302	決算付属資料	76・78	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成2年度(1990)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市佐藤太清記念美術館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	日本画佐藤太清の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用を図り、市民文化の発展に寄与し、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、本市の文化的な情報発信を行い、文化的イメージアップを図る。名誉市民佐藤太清画伯を顕彰する。									
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	株式会社アートサービス丘 ほか									
	事業概要	■福知山市佐藤太清記念美術館収蔵作品及び佐藤太清賞受賞作品の修理・額装。ちいさな絵画展や美術館コンサート開催。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	報償費	審査員謝礼							140		
	需用費	消耗品費、チラシ印刷							93		
	役務費	郵送料							62		
	委託料	額装業務委託、コンサート公演業務							438		
	使用料及び賃借料	パイプ椅子レンタル							23		
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業、佐藤太清賞公募美術展事業、佐藤太清記念美術館特別展事業、市展事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	986	910	850	2,009	850				
		②補正予算			0						
		③流充用額	0	0	0						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	616	0	154	934	0				
		国支出金	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0					
		その他特財	370	910	696	1,075	850				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村交付金		種類	諸収入	実績金額	300	決算付属資料	46	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.05/0.38	0.13 / 0.42	0.09 / 0.47	0.09 / 0.47						
⑤概算人件費	1,350	2,090	1,895	1,895							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,336	3,000	2,745	3,904							
⑦執行額	872	759	756	0							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	88.4%	83.4%	88.9%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入館者数	人	11,971/8,000	9,063/8,000	8,964/9,000	/ 10,000	11,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開館日数	日	290/295	286/295	281/295	/ 307	307
	単位あたりコスト		3.0	2.7	2.7			
	単位あたりコスト					/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	美術館の使命である芸術作品の収集・保管、活用を図るため収蔵品の適切な管理を行う。美術館環境を活用したワークショップやコンサート等の普及事業が求められおり、市民にも定着している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	収蔵資料の額装等、専門性を要するものは業務委託し効率的に管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山市の文化資産を管理・活用することで文化的イメージの向上を図ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	「わかり易く、誰もが楽しめる楽しい展覧会」を目指し各種企画を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施し、入場者増を図っている。		
今後の課題及び方向性	見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図り施設を有効に活用する。図書館、学校等関連事業とも連携し入館者数増につながる特別展・展示内容が必要であり、展示計画を策定して進めていく。令和2年1月からは2階展示室で大河ドラマの特別展を開催予定であり、既存の展示会やワークショップ事業については丹波生活衣館等とも連携し進めていく。収蔵資料の適切な保存・管理を進めるとともに、文化資源を活用した普及啓発事業を進めていく。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	佐藤太清記念美術館特別展示業、福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業と統合
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課						
	作成責任者	西村正芳						
	事業名	郷土資料館管理運営事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 文化振興費	会計 一般会計	事業コード 650303	決算付属資料 78	頁
	施策体系	施策コード 020701	施策名 文化活動を振興する					
	開始年度	昭和61年度(1986)						
	終了予定年度	令和2年度(2020)						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	福知山市郷土資料館条例						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示して普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する郷土資料館の適正な運営を行う。市民や本市来訪者へ、福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。					
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社 ほか					
	事業概要	■施設・設備の維持・管理。特別展・企画展の企画・開催 ■受付・案内業務 ■歴史資料・郷土資料ノ収集と保存・保管、研究 ■企画展・体験会等普及活動の実施 ■福知山城関連の観光イベント、メディア等の取材協力					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		賃金	嘱託職員 育休代替臨時職員			634	
報償費		展示品謝礼			20		
旅費		資料借用			41		
需用費		光熱水費、消耗品費、印刷製本費			4,612		
役務費他	役務費701、委託料2278、使用料及び賃借料197、備品購入費606、負担金補助及び交付金25			3,807			
関連事業	福知山城観光誘客強化事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	5,943	5,437	5,610	6,794	9,062			
		②補正予算			2,690					
		③流充用額	3,656	1,842	1,093					
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	前年度繰越			0	0	0				
		次年度繰越		0	0	0				
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	440	1,842	279	0	6,062			
		国支出金	0	0	0	0				
		府支出金	0	0	4,000	0				
		地方債	0	0	0	0				
		その他特財	9,159	5,437	5,114	6,794	3,000			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	郷土資料館入館料	種類	使用料及び手数料	実績金額	5,114	決算付属資料	8	頁
		特財名称	もうひとつの京都補助金	種類	府支出金	実績金額	4,000	決算付属資料	22	頁
	人件費	0.33/2.91	0.23 / 2.91	0.21 / 2.88	0.21 / 2.88					
⑤概算人件費	9,915	9,115	8,880	8,880						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	19,514	16,394	18,273	15,674						
⑦執行額	9,379	7,257	9,114	0						
執行率 (⑦/⑥)×100	97.7%	99.7%	97.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入館者数	人	39,671/36,000	37,043/36,000	40,072/38,000	/ 50,000	50,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開館日数	日	306/308	308/308	287/310	/ 334	334
	単位あたりコスト		30.7	23.6	31.8			
	単位あたりコスト					/		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市のランドマーク、シンボルとして広く親しまれ、本市の歴史を紹介する数少ない施設である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な業務発注ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	来館者に適切な施設環境を整えるとともに安心・安全な施設運営を進めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		福知山城観光誘客強化事業と連携し、城内の施設改修を実施した。工事期間中やイベント開催中も安心・安全な施設運営を図ることができた。	
今後の課題及び方向性		平成28年度に天守閣再建30年を迎え施設の老朽化が課題となっている。2020年大河ドラマ放送も見込み、福知山城観光誘客強化事業により修繕・改修等を進めているが、今後10年20年先を見据え、運営等の面も含めた対策を計画的に進めていく必要がある。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	佐藤太清記念美術館管理運営事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650306	決算付属資料	78	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成2年度(1990)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	日本画家佐藤太清の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用を図り、市民文化の発展に寄与し、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、本市の文化的な情報発信を行い、文化的イメージアップを図る。名誉市民佐藤太清画伯を顕彰する。									
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内外を対象)			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	三菱ビルテクノサービス株式会社 他									
	事業概要	■福知山市佐藤太清記念美術館の管理運営を行う。佐藤太清画伯の作品を中心とした日本画の収集保管・展示。佐藤太清画伯に関わる資料の収集・保管。美術館専用のホームページを運営し、広く全国へ情報発信。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費		
	需用費	光熱水費、消耗品費						4,419			
	役務費	電話代、郵送料						252			
	委託料	業務委託						2,526			
	使用料及び賃借料	複写機使用料						86			
	備品購入費	電話機						129			
関連事業	佐藤太清賞公募美術展事業、佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業、佐藤太清記念美術館特別展事業、市展事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	9,550	8,537	8,447	7,444	6,410			
	②補正予算			0					
	③流充額	△ 192	△ 981	△ 876					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越		0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	5,849	5,236	5,907	1,633	0			
	国支出金	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他特財	3,509	2,320	1,664	5,811	6,410			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤太清記念美術館入館料	種類	使用料及び手数料	実績金額	862	決算付属資料	16	頁
	特財名称	美術絵はがき等販売	種類	財産収入	実績金額	289	決算付属資料	32	頁
人件費	0.21/1.7	0.29 / 1.7	0.13 / 1.71	0.13 / 1.71					
⑤概算人件費	5,930	6,570	5,315	5,315					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	15,288	14,126	12,886	12,759					
⑦執行額	9,066	7,473	7,412	0					
執行率 (⑦/⑥)×100	96.9%	98.9%	97.9%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		入館者数	人		11,971/8,000	9,063/8,000	8,964/9,000	/ 10,000	11,000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		開館日数	日		290/295	286/295	281/295	/ 307	307
		単位あたりコスト			31.3	26.1	26.4		
		単位あたりコスト						/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	京都府北部唯一の美術館として、福知山市の文化水準を全国に発信するための存在意義は大きい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	嘱託職員を中心に運営しており施設管理等は効率的におこなっている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	美術館は全国的に情報発信できる福知山市固有の文化的資産を有しており、福知山市の対外的な文化的イメージの向上をはかる数少ない事業である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。また、わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップやギャラリートーク等の市民参加型の体験会を実施し、市民に文化芸術に触れていただく機会を創出している。	
今後の課題及び方向性		施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでおり、運営も含めて計画的に検討する必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	丹波生活衣館管理運営事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650309	決算付属資料	78	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成14年度(2020)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	丹波生活衣館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	丹波生活衣の歴史と特色を紹介し、本市の文化発信の拠点とする。地域文化の伝承活用を通じて、新たな地域文化の創造と情報発信を行い、市民が地域の文化・歴史について理解を深め、愛着と誇りを持つ。									
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	株式会社昭和リース ほか									
	事業概要	丹波生活衣を中心とする文化資料の収集及び保存、展示会の開催による文化資料の展示及び供覧、調査及び研究、ギャラリーや研修室の活用をはかり、展示発表その他の文化活動の利用に供する。市民と協働し、自主事業や寄贈資料の整理作業を実施。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費		
	賃金	臨時職員賃金						1,817			
	報償費	講師謝礼						24			
	需用費	光熱水費、消耗品費、印刷製本費						1,330			
	役務費	電話代、郵送料						177			
	委託料他	委託料972、使用料及び賃借料1,430、備品購入費15						2,417			
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	5,020	4,863	4,780	4,403	4,960					
		②補正予算	37	490	0							
		③流充用額			994							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越	前年度繰越		0	0	0						
		次年度繰越		0	0	0						
		繰越合計		0	0	0						
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	4,643	4,939	5,449	3,875	4,362					
		国支出金	0	0	0	0						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0						
		その他特財	414	414	325	528	598					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	丹波生活衣館使用料		種類	使用料及び手数料		実績金額	235	決算付属資料	8	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.12/1.77	0.1 / 2.02	0.11 / 2.11	0.11 / 2.11							
	⑤概算人件費	5,385	5,850	6,155	6,155							
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	10,442	11,203	11,929	10,558							
	⑦執行額	4,928	5,343	5,765	0							
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	97.4%	99.8%	99.8%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入館者数	人	7,561/10,000	6,480/10,000	8,751/10,000	/ 10,000	10,000
		施設貸し室件数	件	50/130	49/130	87/130	/ 100	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		展示会・講座・教室の回数	件	22/25	28/25	32/25	/ 25	25
		単位あたりコスト		224.0	190.8	180.2		
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	庶民の服飾資料として全国的に例のないもので、貴重な文化遺産として保存と活用を進める。本市の文化的、歴史的な特徴と魅力を発信することができる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市民参加を促す市民ギャラリーを活用し観覧者増加を図っている。体験学習会との材料は受益者負担として事業経費の支出を節減している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	丹波生活衣同好会と市民協働で資料の調査・整理、活用を行っている。服飾のみならず工芸等、伝統技術を基にした多くの体験学習会を実施しており大変好評である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	各種企画展示、ギャラリー貸出しを行い情報発信している。 伝統素材や技術を基本とした各種体験学習会等を積極的に開催しており、概ね募集案内直後には定員を満たしている。 丹波生活衣同好会のみなさんに、ボランティアで運営の支援をいただいている。		
今後の課題及び方向性	館並びに事業の広報につとめ、入館者にギャラリー等貸し館の利用案内を徹底し、利用率向上を図る。さらに、福知山城・美術館・ゆらのガーデン等周辺施設との情報共有・連携維持を図る。 織り体験希望者を有料とする方向で検討している。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して実施する。
	予算への反映 【財政担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	治水記念館管理運営事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650311	決算付属資料	78	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成16年度(2004)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市治水記念館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	由良川の水害、治水等に関する歴史的資料及び町屋を保存、活用するとともに、地域文化向上に寄与する。市民や来館者へ水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深める。									
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	委託先又は指定管理者：柳菱クラブ(施設管理の一部は直営)									
	事業概要	■施設の管理 ■受付案内業務 ■企画展・関連イベントの企画開催・運営 ■明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用する。 ■防災センターと連携して、水害や治水の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る。 ■より多くの来場者を得て市民全体の防災意識向上を図るため、入館料を無料としている。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費		
	需用費	施設修繕料、消耗品費						369			
	役務費	保険料						55			
	委託料	指定管理料						3,540			
	関連事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	3,733	4,084	3,995	3,896	3,456
	②補正予算	11	△ 61	0		
	③流充用額			0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 (財源内訳(①④⑥内訳))	一般財源	3,744	4,023	3,995	3,896	3,456
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.1/0	0.14 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0		
⑤概算人件費	800	1,120	960	960		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,544	5,143	4,955	4,856		
⑦執行額	3,487	3,862	3,964	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	93.1%	96.0%	99.2%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	意識啓発(説明者件数)	人	-	-	700/1,000	/ 1,000	1,000
						/	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	開館日数	日	307	305	305	/ 310	310
		単位あたりコスト	11.4	12.7	13.0		
	入館者数	人	3,178/3,000	3,202/3,200	2,159/3,300	/ 3,300	3,300
		単位あたりコスト	1.0	1.2	1.8		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	由良川の水害、治水に関する歴史的資料及び町家を保存活用し、後世に伝えていくことは責務である。地域コミュニティの創造・活性化を図るなど妥当性も高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	指定管理者制度を導入し、効率的な運営を図っている。地元組織が運営に当たることによって、地域と施設が連携して効率的に運営されている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	歴史的建造物である町家建物の保存活用を行い、水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深めるための有効活用ができています。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			記念館の目的の治水と水害に対する水害体験を身近に感じていただくとともに、明治初年建築の町家の構造や見学を知ることができる施設として地元小学生が授業で来訪している。また、指定管理者による多様なテーマの自主事業実施により、館の魅力を発信するとともに、中心市街地の回遊のコースとして位置づけている。
今後の課題及び方向性			指定管理者は治水記念館の地元有志で組織され、「昭和28年水害」の貴重な体験談が聞ける施設として地域づくり防災の観点からも有用であるが、語り部が高齢化しており、次世代への継承が課題である。施設の運営については指定管理者制度の見直し等もふまえ検討する。

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【H30棚卸による見直し状況】 令和元年度をもって指定管理制度は終了。令和2年度から3年間を目処に市の直営施設として運営する。その後のあり方については、直営での運営期間内に中心市街地活性化や町並み保存などの視点で、民間活力も視野に入れつつ検討する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	芦田均記念館管理運営事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650316	決算付属資料	78・80	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成14年度(2002)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市芦田均記念館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	芦田均元首相に関する資料を保存及び活用するとともに、地域文化の向上に寄与する。福知山市名誉市民である芦田均元総理大臣の事跡を紹介し、顕彰する。																																
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0																										
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()																																
	委託先・実施主体等	委託先又は指定管理者：芦田均元首相顕彰会																																
	事業概要	■施設・設備の管理 ■受付案内、施設使用許可申請業務 ■芦田均関係資料の収集・整理・保管・展示 ■企画展・関連イベントの企画・開催・展示 ■資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。																																
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">具体的な内容</th> <th>H30経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td colspan="2">消耗品費</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td colspan="2">保険料</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td colspan="2">指定管理料</td> <td>3,820</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										項目	具体的な内容		H30経費	需用費	消耗品費		1	役務費	保険料		30	委託料	指定管理料		3,820							
項目	具体的な内容		H30経費																															
需用費	消耗品費		1																															
役務費	保険料		30																															
委託料	指定管理料		3,820																															
関連事業																																		

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	3,789	3,841	3,907	3,907	3,918				
		②補正予算	9	0	0						
		③流充用額			0						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0					
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	3,755	3,813	3,881	3,806	3,863				
		国支出金	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0					
		その他特財	43	28	26	101	55				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	芦田均記念館使用料		種類	使用料及び手数料	実績金額	26	決算付属資料	8	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.10/0	0.21 / 0	0.11 / 0	0.11 / 0						
⑤概算人件費	800	1,680	880	880							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,598	5,521	4,787	4,787							
⑦執行額	3,791	3,781	3,851	0							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.8%	98.4%	98.6%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入館者数	人	3,352/3,000	3,020/3,100	2,730/3,200	/ 3,300	3,500
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開館日数	日	308	307	305/310	/ 310	310
		単位あたりコスト		12.3	12.3	12.6		
		イベント開催回数	回	5	5	6	/ 5	5
単位あたりコスト		758.2	756.2	642.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市内唯一の総理大臣経験者である芦田均元首相の高い業績を顕彰することは、人材育成の観点からも妥当性の高いものである。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	芦田均元首相に関する資料等を保存・活用するとともに、地域コミュニティの創造・活性化に寄与している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		指定管理者によって、著名な有識者を招いての講演会が記念館事業の売りとなっており、他にも多様なテーマの自主事業を実施している。帰郷者が多く訪れる正月三が日にも自主的に臨時開館するなど、指定管理者の積極的な運営がみられる。	
今後の課題及び方向性		郷土出身の芦田均元首相を顕彰する施設であり、芦田均に関する資料の収集や紹介、発信方法等を検討していく。施設の運営については、指定管理者制度の見直し等もふまえて適切に対処していく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【H30棚卸による見直し状況】引き続き、指定管理での運営を行う。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	厚生会館管理運営事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650318	決算付属資料	80	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	昭和37年度(1962)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市厚生会館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。厚生会館の利用促進及び文化の拠点としての充実を図り、地域の文化振興を図る。									
	対象者	施設利用者(出演者、入場者など市内外を問わず)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.3					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	株式会社浄美社									
	事業概要	■厚生会館の施設・設備維持管理、受付・案内業務、施設利用の申請・許可業務、文化事業の企画運営を実施 ■市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台客席を持つ多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	需用費	光熱水費、消耗品費、印刷製本費							8,297		
	役務費	郵送料、電話代							157		
	委託料	業務委託							9,798		
	使用料及び賃借料	複写機使用料							109		
	備品購入費	デジタルカメラ							47		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	17,219	17,271	18,995	17,547	15,908			
		②補正予算			0					
		③流充用額	△ 505	△ 996	△ 233					
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	繰越	前年度繰越		0	0	0	0			
		次年度繰越		0	0	0	0			
		繰越合計		0	0	0	0			
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	1,316	1,284	4,035	2,699	5,380			
		国支出金	0	0	0	0	0			
		府支出金	0	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0	0			
		その他特財	15,398	14,991	14,727	14,848	10,528			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	厚生会館使用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	9075	決算付属資料	8	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.21/2.85	0.13 / 2.85	0.12 / 2.8	0.12 / 2.8					
	⑤概算人件費	8,805	8,165	7,960	7,960					
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	25,519	24,440	26,722	25,507					
	⑦執行額	15,928	16,197	18,408	0					
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	95.3%	99.5%	98.1%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設使用料	千円	10,698/17,500	9,028/17,500	9,000/17,500	/ 145,000	145,000
		施設利用者数	人	64,356/75,000	58,000/75,000	55,000/75,000	/ 75,000	75,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設利用件数	件	1,142/1,500	1,080/1,500	950/1,500	/ 1,200	1,200
		単位あたりコスト		13.9	15.0	19.4		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市内最大のホール、多目的施設として代替性はなく、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	公的利用、民間利用、営利、非営利ともに土日の利用はほぼ90%に近い状態で有効に活用されている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	受益者負担の原則から使用料負担により年間事業費の約60%、自動販売機の貸付等収入で約1%の収入を確保しているが、より利用率を向上させる必要がある。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成29年度の年度当初に改修工事実施のため、予約不可のアナウンスをしていたため、他施設に利用が流出し使用者が減少傾向にある。また、市内他施設に対して設備の老朽化も進んでいることも原因の一つと想定する。	
今後の課題及び方向性		厚生会館施設及び設備の老朽化により、改善箇所が多数ある。 平成30年3月竣工を目処に厚生会館改修を実施する計画があったが耐震補強が必要となり多額の経費が必要となることが判明し、一旦立ち止まって再検討を行うこととしている。改修等については30年度に策定した「文化振興基本方針」の方向性によって進めていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	○財源について適正に計上をされたい。カラ財源とならないように。
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	当施設の建替えや改修について、検討を進める。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	新町文化センター管理運営事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650321	決算付属資料	80	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成17年度(2005)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市新町文化センター条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与する。三階・四階部分は文化資料を所蔵している。										
	対象者	市民、施設利用者(市内を対象)	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	委託先又は指定管理者：公益財団法人福知山市文化協会										
	事業概要	■施設・設備の管理 ■受付案内、施設使用許可申請業務										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		需用費	光熱水費、施設修繕料							1,767		
役務費		保険料							87			
委託料		指定管理料							1,927			
使用料及び賃借料		土地建物借上げ料							1,635			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	5,368	5,368	5,230	4,722	2,875					
		②補正予算			0							
		③流充用額	121	271	190							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	4,783	4,964	5,277	4,517	2,875					
		国支出金	0	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0	0					
		その他特財	706	675	143	205	0					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新町文化センター使用料		種類	使用料及び手数料		実績金額	127	決算付属資料	8	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.17/0	0.1 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0							
⑤概算人件費	1,360	800	960	960	960							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,849	6,439	6,380	5,682								
⑦執行額	5,484	5,634	5,416	0								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.9%	99.9%	99.9%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		利用件数	件	558/600	514/600	438/600	/ -	-
		施設利用人数	人	4,902/5,500	4,618/5,500	3,641/5,500	/ -	-
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開館日数	日	289/300	289/300	290/300	/ 300	300
		単位あたりコスト		19.0	19.5	18.7	/	
単位あたりコスト					/			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	文化協会所属団体に限定した文化活動の場となっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	賃借料等維持管理費の支出に見合った効率的な運営を図っているが、使用対象が限定されるため、効果は限られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	施設の利用を一部制限している事情もあり、活用も限定的であるが、中心市街地の文化活動の拠点として活用されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	本市説は施設の廃止が予定されている、施設の耐震化がされていない等の事情から活用を制限している部分があるが、市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与するという施設の目的について、文化協会に所属する団体を中心に利用され、一定の目的を果たしてきた。現在は、近隣に類似した機能をもった施設も建設され、利用者が固定化している状況にある。		
今後の課題及び方向性	新町文化センターの指定管理期間は平成29年度までであり、建物の賃貸借更新も含めて機能移転先等の候補地の選定を進めたが、適確な移転先を選定できなかったため、2年間に限り指定管理期間を延長した。 令和元年度末に新町文化センターを廃止し、それにともない指定管理も終了する。 令和2年度末には不動産賃貸借契約を締結する株式会社京都銀行に建物を返却する。			

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新町文化センターについては、令和元年度をもって閉鎖。指定管理についても終了。当建物の賃貸借契約は令和2年度末までとなり、建物内には文化資料が収蔵されているため、令和2年度についても建物の管理を行う。収蔵されている文化資料については、別予算事業にて令和2年度中に移転する。
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	福知山市伝統文化後継者育成事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650378	決算付属資料	80	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成29年度(2017)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	丹波漆、丹後和紙等の伝統技術、工芸製品は市民の「心の豊かさ」や「地域の魅力」を創造し、本市の歴史・文化の個性と魅力を引き出す観光・地域資源となっている。この貴重な伝統文化を未来へ継承するため新たな後継者の育成を図る。									
	対象者	後継者	対象者数	1	単位あたりコスト	2,300.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	補助先: 田中製紙工業所									
	事業概要	福知山市内に伝承される伝統的な工芸・技術を文化としてまた地域産業として継承させる。 ■本市の魅力ある伝統文化(伝統技術・工芸製品)の後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対し支援を行う。 ■(1)後継者1人につき3年を限度に補助金を交付する。後継者の育成支援 月額上限50千円、年額600千円。 ■(2)後継者となる人材の発掘を目的とする伝統的工芸品等の製造に係る調査及び研究の体験研修等を行う事業に補助金を交付する。事業費の1/2、上限10万円。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
	負担金補助及び交付金	後継者育成補助金						432			
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	0	600	1,100	1,400				
	②補正予算			0					
	③流充用額	0	0	0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
予算と執行の状況	前年度繰越		0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
	一般財源	0	0	668	0	0			
	国支出金	0	300	216	0				
	府支出金	0	0	0	700				
	地方債	0	0	0	0				
その他特財	0	300	216	700					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	国庫支出金	実績金額	216	決算付属資料	16	頁
	特財名称	伝統文化後継者育成事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	216	決算付属資料	34	頁
人件費	0/0	0.13 / 0	0.15 / 0	0.15 / 0					
⑤概算人件費	0	1,040	1,200	1,200					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	1,640	2,300	2,600					
⑦執行額	0	360	432	0					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	60.0%	39.3%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	伝統工芸に対する市民の理解度(新聞等掲載数)	件	-	-	4/3	/	5	8
						/		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	年間勤務日数	日	-	170/240	168/240	/	480	240
	単位あたりコスト		0.0	2.1	2.6			
	後継者の育成	人	-	1/1	1/1	/	2	2
	単位あたりコスト		0.0	360.0	432.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市を代表する伝統文化を保護し、継承を支援する事業であり、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	伝統文化の後継者育成に受益者との負担割合等妥当な水準で実施できている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	後継者活動のPRや本市事業への協力のあり方を検討する必要がある。今後の本市への定着等に課題がある。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図っている。地域の文化を継承する定住の促進に寄与している。本市の文化資源を有効に活用し、文化振興と本市伝統文化の後継者発掘促進を進めるため、体験活動や調査研究活動に対して新規に補助金を設けた。		
今後の課題及び方向性	本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図るため、後継者の独り立ち、生業としての定着が求められる。今後、人材を活用し、文化振興を図る手法を探る。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	丹波漆活用事業と統合し、「丹波漆等伝統文化活用・支援事業」とする。 丹波漆については、植栽支援と市場調査を中心に実施する。 丹後和紙、由良川藍については、技術を継承する団体の活動支援を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	福知山市文化芸術振興基本方針策定事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650380	決算付属資料	80	頁
	施策体系	施策コード	020701	施策名	文化活動を振興する									
	開始年度	平成29年度(2017)												
	終了予定年度	平成30年度(2018)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	文化芸術基本法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市の文化振興の基本的かつ体系的な方向性をまとめ、今後の市民協働による推進体制の整備、また文化施設のあり方等について検討し、“文化を活かしたまちづくり”を行う。										
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	策定業務：民間コンサルティング会社										
	事業概要	■文化振興施策の基本的な方向性を定める基本方針の策定を進める。 ■市民と有識者による策定委員会の設置 ■団体等からのヒアリング、市民アンケート調査 ■策定業務は業務委託 債務負担行為：策定業務委託 3,000千円(H29:1,283千円、H30:1,717千円) 策定委員会設置、各種ヒアリング、市民アンケート調査、コンサル委託契約										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		報償費	策定委員会委員謝金							415		
旅費		策定委員会委員旅費、事務連絡旅費							240			
需用費		消耗品費							6			
委託料		策定業務委託							1,712			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	0	1,591	3,539					
	②補正予算	0	0	0					
	③流充用額			△ 796					
	④繰越額計	0	0	0	0				
前年度繰越		0	0						
	次年度繰越		0	0					
予算と執行の状況	一般財源	0	950	735	0				
	国支出金	0	0	0					
	府支出金	0	641	826					
	地方債	0	0	0					
	その他特財	0	0	1,182					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	みらい戦略一括交付金	種類	府支出金	実績金額	826	決算付属資料	22	頁
	特財名称	ふるさと創生事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	1,182	決算付属資料	36	頁
人件費	0/0	0.47 / 0	0.48 / 0	/					
⑤概算人件費	0	3,760	3,840						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	5,351	6,583						
⑦執行額	0	1,580	2,386						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	99.3%	87.0%						

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	市民アンケートの実施	人	0	690/2000	0	/	0	2,000
						/		
						/		
						/		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	策定委員会の開催	回	0	3/3	5/5	/	0	5
	単位あたりコスト		0.0	526.7	477.2			
						/		
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市の文化振興の方針を定める明確な指針が無く、基本方針を策定することにより、市民協働による推進体制等文化を活かしたまちづくりを進める上で必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	文化に精通している市民等による策定委員会を設置し、より市民に身近な内容とした。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	より現実性の高い方針を作成し、文化で賑わいと魅力のあるまちづくりを目指す。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		策定委員会を5回、施設のあり方検討会議を4回実施し、2月にパブリックコメントを行い、「福知山市文化振興基本方針」を策定した。	
今後の課題及び方向性		文化・芸術の豊かな社会の実現に向けた環境整備の推進を図り、市民とともに文化芸術を振興するため、文化振興基本方針推進懇話会を設置し進捗状況等の意見交流をおこなう。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】